

## キッズあきんど事業

淡路市内の子どもたちに、「商売の楽しさを体験してもらうこと」、「将来の『あきんど』を育てること」を目的に淡路市商工会青年部が主催し、毎年多くの子どもたちが参加してくれています。

例年、夏・秋と2回実施し、夏は7月に開催される淡路市夏まつりの会場内で、市内小学4年生が販売体験に参加しています。持ち前の元気さで、店舗を明るくし、多くの来場者が行列を作ります。

秋は11月に子どもたちが、淡路市商工会が主催する「淡路島ええもんうまいもんフェア」の会場内で、市内小学5・6年生が、販売体験はもちろんのこと、事前の会社作り・事業計画書作成から、販売終了後の決算書作成まで、経営の流れを体験しています。

商売する楽しさ、難しさを感じてもらうことで将来経営者になる選択肢を増やして、淡路の将来を明るくします。

また、平成28年度は、地元の名産・特産を活かした商品を販売することで、地元淡路島の魅力を知ってもらい、子どもたちの地元への理解を深めることにも取り組んでいます。



※写真は夏の事業の様子です。

### 参加したお子様からの声

●初めははずかしかったけど、だんだん慣れてきて、楽しかったです。笑顔で販売できたので、良かったと思います。

●接客が大変だったけど、お客さんが「ありがとう。」と言ってくれたので、とてもうれしかったです。

●働くのは大きな声でお客さん呼び込みしたりしないといけないので、大変だと思った。でも、うれることは楽しかったので、またしたいと思いました。

### 保護者様の声

●「ありがとう。」と言ってもらえることに子供が喜びを感じ、販売の仕事に興味を持つようになりました。

●お客様のために丁寧に接客し、一つでも多く売れるように呼び込みをしていて、商品一つ売ることの大変さがわかったようです。なんでも一生懸命しないといけないことに気付いてくれました。

●お金を稼ぐ大変さや苦勞を子供が知り、良い経験をさせていたできました。

## 身体の中から浄化する…内なる禊<sup>みそぎ</sup>

# 女性部「淡路島のめぐみ<sup>2</sup>だし」完成間近！

淡路市商工会女性部 部長(商品開発チーム) 戸田 好美



淡路島の歴史と物語から商品へと繋ぐブランディング事業…前号の「きらっと淡路」でお伝えしたように、女性部では「淡路島のめぐみ(めぐみのじじょう)だし」の商品開発にあたりています。

伊弉諾尊が禊を終えて鎮座される淡路島は、人を元気にする癒しの島であり浄化の島である…と言えます。

古来より御食国であり、現在においても日射量豊富な地に育った作物は、ポリフェノールを多く含み、がん予防・アンチエイジングなどに有効です。

私たちが歴史と物語を巡り導いたコンセプトは「身体の中から浄化する…内なる禊」文字通

### 「ワンコイン講習会」で女子力UP!!

参加費500円のワンコイン講習会を開催して3年目…。女性部定番の事業となりつつあり、毎回、部員の皆様からの希望をもとに内容を検討し「参加しやすく楽しい学び！」を心がけています。

今年度は9月5日(月)第1回の講習に、神戸のカナルプランニングより太田先生・藤井先生をお迎えし「似合う色とは？」のカラーセミナーを実施しました。

まず、肌・瞳・髪の色から判断し、スプリング、サマー、オータム、ウインターの4シーズンカラーから参加者20名それぞれに似合う色をチョイスしていきます。

リラックスした雰囲気の中、色の持つ効果を実感しながら、意外な色が似合うなど新たな発見も…！年齢に関係なく背筋を伸ばすことの大切さも学び、2時間の講習会があっという間に終了です。

ワンコイン講習会を実施するようになってから、日常でも何か挑戦してみたいこと・学んでみたいこと…を意識するようになり、1回2時間程度ではありますが、経験が新たな興味や知識に繋がっていると感じています。

第2回には「アイシングクッキー」の講習会も予定しており、他にも「七宝焼き」などのアクセサリー作りも検討中。

今後も皆様に喜んでいただける講習会を開催し、部員増強にも繋げていきたいと思ひます。



り淡路島のめぐみである素材を用いた「だし」の開発に繋がります。

今回は「和風だし」「洋風だし」の2種類を提案しています。が、なにしろ女性部にとって初の試みです。

開発チームにより、手探りで試行錯誤しながら味と風味の決定、材料調達、加工、パッケージング…など殆どを女性部員の手で行いました。

「和風だし」はベーシックながら玉ねぎのこくと甘みがポイント。「洋風だし」はえびの殻

と野菜をベースとしたもので応用範囲の広い仕上がりになりました。だしソムリエの資格も取得！

年内には全ての島内各商工会女性部員、洲本市商工会議所女性会員に「淡路島のめぐみだし」を配布し試していただき、来年度以降商品として販売する予定です。

今回の事業の中で、私たちが導き出した「禊の島」「浄化の島」あるいは「再生の島」…というキーワードは、単に商品開発に繋いだけではなく、今後、淡

路島の一つの方向性・コンセプトとしてインバウンドやツーリズム事業にも活用できるのではないかと考えています。

淡路島が世界の聖地の一つであることは間違いない…ですね！

「淡路島のめぐみだし」で健康やかに…「内なる禊」いかがでしょうか?!



※淡路島のめぐみ…淡路島の女組×淡路島の恵